



St. Paul's Alumni

セントポール 立教大学校友会報

2018
August
No.444

立教池袋キャンパス100周年

池袋の街とともに歩んだ歴史

1918

(上)移転当時の本館、図書館、礼拝堂。キャンパスの前には畑が広がっていました
(下)本館中央の塔は関東大震災で激しく損傷し、1層低い形で再建されました



2018

100年

1874年(明治7年)に築地に開設された立教学校(当時)は、1918年(大正7年)に池袋へ移転しました。以降立教大学は池袋の地でその歴史を刻み続け、2018年で100周年を迎えました。

池袋の思い出

高野 生まれも育ちも池袋。実家は古本屋を営んでいました。戦時中縁故疎開していましたが、戦後帰ってくると辺りはすっかり焼け野原で、建物で残っていたのは立教大学くらいでした。家からストリートに大学の正門が見えたことは今でも鮮明に覚えています。

特別対談

豊島区 高野之夫 区長(昭35経)
立教大学 郭洋春 総長(昭60経院)

戦前の池袋生まれ、中学から立教一筋の高野区長と、同じく池袋生まれで幼少期から池袋の変貌を見続けてきた郭総長。池袋の地に強い思いのあるお二人が対談を行いました。

郭 私は池袋で生まれて、その後は沿線の練馬区に転居しました。当時の豊島園周りは田舎で、池袋にはたくさんのお店や百貨店があって賑わっていました。それから遠出をして遊びに行く場所といえは池袋でしたね。その後、豊島区内の高校に通う頃になると、当時日本一高いビル、サンシャインシティの建設が始まりました。未知の高さにどれだけの大きなものができるのかわからずと学校の窓から日々様変わりする様子をワクワクしながら見ていたことを思い出します。

高野 おっしゃる通りで、特に私たちが世代は地元の人が多かったように思います。地元の方も「我々の立教大学」という意識が高くて、これほど街ぐるみの関係性を持っているところは他にないのではないのでしょうか。
郭 そうですね。私たちは、今年池袋キャンパス移転100周年のキャッチフレーズを「池袋の街とともに」としました。地元の方々に愛され、街に深く根づいてきたからこそ、今の立教があると感じているからです。



左：郭洋春総長、右：高野之夫豊島区長

立教大学と池袋

郭 立教に在学して気づいたのですが、同級生に地元の方が多いんですね。
高野 おっしゃる通りで、特に私たちが世代は地元の人が多かったように思います。地元の方も「我々の立教大学」という意識が高くて、これほど街ぐるみの関係性を持っているところは他にないのではないのでしょうか。

1956

四丁目付近。当時の男子学生はみんな学ラン姿でした



62年



1932

藤棚の前で写真を撮るハイカラな学生たち



86年



2018

オープンキャンパススタッフの学生たち。未来の「立教生」のために頑張ります

2018

今も昔も四丁目は学生たちの集いの場です

主なニュース

2面

10月14日(日)開催
第56回 ホームカミングデー

4面

第3期覇王獲得 高見泰地棋士

5面

東京六大学バスケットボールリーグ
陸前高田大会 開催報告

8面

地域立教会を訪ねて
第50回鴻巣立教会

※本紙の無断転載を禁止します。

これからの豊島区と立教大学のつながり

高野 今回、立教大学移転100周年という大きな節目を豊島区としても一緒に盛り上げていきたいと考えています。池袋とともに立教大学が大きく発展していく、新たなスタートだと思っています。これから新たな100年に向けて、「人づくり」は立教大学で、「街づくり」は豊島区で、二人三脚で進めていきたいと私は強く思います。
郭 街と大学との関係性が全国から注目されるようなモデルケースになるよう努めていきたいですね。

(6月6日豊島区役所に)

「ルールの有無に関わらず、常にフェアの精神で、自らを律してプレーします。レフェリーの存在意義を正しく理解し、心から尊重します。ノーサイドの精神を尊び、相手チームに心から敬意を表します。」これは2005年に発表された話題にもなった「立教ラグビー宣言」の一部。世の中のスポーツプロ化や商業化に伴った利己的営利的な勝利至上主義によるラグビーが目立つなか、大学スポーツが世間を騒がせたのは記憶に新しい。13年前、フェアプレーの精神をどこまでも貫くと高らかに宣言し、先進的に謳いあげた母校を誇らしく思う。▼「勝つためには手段を選ばない」。この歪んだ精神はなにも大学スポーツに限った話ではない。勝利を追求するあまり、モラルを失い盲目的な選択をする。特に組織力が強ければ強いほど、より「個」よりも「組織」優先の意識が強くなる傾向があるのかもしれない。こうした歪んだ帰属意識が生んだ様々な組織の不祥事が最近あつと絶たない。▼「私自身、中高とラグビーという競技に関わり「One for All, All for One」の薫陶を受けてきた。しかし今、組織によってはその意が歪んだ形で押し付けられているのではないだろうか。▼周囲に押し潰されず常にフェアプレーを貫ける強い個を持つこと。それを養生できるような組織としての自律と、悪しき慣習からの脱却と自浄。組織の上に立つ者こそ時代に添う価値観へのアップデートが今日必要になってきたのではないか。「立教ラグビー宣言」は、今日こそ真価を放っている。(平27経 平澤宗大)

時計台



10/14
開催!

ホームカミングデー

毎年秋の恒例イベント、ホームカミングデー。今年も盛大に開催いたします。

タツカーホール「夜限りの特別ステージを開催！」

シンド・カフカ スペシャルライブ

ドラマー・歌手としてだけでなく、NHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」等数々の話題作に出演し、女優としても注目されているシンド・カフカさんは立教女学院小学校出身。久しぶりに「立教」に戻ってきます。

会場／タツカーホール
時間／15時～16時30分



「立教ファミリー」のシンド・カフカさん

踊りに踊った青春のあの頃。懐かしの夜をもつ度。

DISCO NIGHT

青春時代を過ごしたあの第一食堂が懐かしのディスコに大変身！80'sディスコ伝道師のDJ OSSHYさんが懐かしの母校の夜を盛り上げます！



DJ OSSHYさん (昭63経)



会場／第一食堂
時間／17時30分～19時

*スペシャルライブ、DISCOイベントはチケット事前販売制です。販売方法は8月1日より校友会ホームページでご案内します。

大福引大会

今年も一等景品は車!!



昨年度の様子。抽選会場は満席でした。昨年度の抽選結果は、大福引大会。今年も校友の皆さまの協力を得て、盛大に開催します。景品等の詳細はホームページで随時公開していきます。

落語会

子どもも大人もみんなで笑おう!

本学卒業生の三笑亭小夢さん(真打/平5日)、金原亭馬久さん(二ツ目/平22日)、柳家小はださん(前座/平26日)と、ゲストのねづっちさん(謎かけ漫談)による落語会(寄席形式)を開催します。

会場／14号館 D301教室
時間／13時30分～15時
定員／200名程度



金原亭馬久さん 三笑亭小夢さん



ねづっちさん 柳家小はださん

マグロの解体ショー

今年は食べる・飲む(呑む)も充実!目の前でさばいたマグロをご来場の皆さまに無料でご提供します。



場所／9号館1階食堂
時間等詳細は決まり次第ホームページ

日本全国名酒紹介コーナー

日本全国に日本酒やワインづくりに携わる校友がいます。ホームカミングデーではそのお酒をご紹介します。



子ども向けのイベントもバリエーションアップ! ふれあい動物園



立教にいろいろな動物が来るのはお楽しみ!いい動物たちがやってくる。思い出のキャンパスで子どもと一緒に楽しみたい!よう! 場所／8号館横

パラリンピックスポーツ体験会



車いすバスケットボール スケートボードなどの体験会を開催します。「ボールを持つ」「車をいすをこぐ」!思った以上の難しさに、大人も思わず熱中してしま

います。場所／14号館地下1階

校友の皆さまへ ご協力をお願い

ホームカミングデーのさらなる充実のため、校友の皆さまのご協力を賜りたくお願い申し上げます。なお、福引大会チケット等の各種売り上げは「地方出身学生への奨学金」として全額寄付いたします。

パンフレット協賛広告について

ホームカミングデー当日配付パンフレットへの協賛広告を募集いたします。

広告種別	タテ×ヨコ(mm)	広告価格
1ページ	262×190	300,000円
1/2ページ	131×190	100,000円
1/4ページ	131×95	50,000円
1/5ページ	65×190	30,000円
1/10ページ	48×86	10,000円

いただいた協賛金は、主に、福引大会景品等で有効に活用いたします。

■申込書締切：2018年8月31日(金)

■協賛金お振込み・広告原稿入稿締切：2018年9月7日(金)

福引大会景品ご提供について

福引大会を盛り上げるため、企業様イチオシの自社商品や、地域色豊かな特産品などのご提供を賜りたくお願いいたします。(恐れ入りますが、季節柄、衛生管理の都合により、生鮮食品・温度管理が必要なもの[目録であれば可]、賞味期限が極端に短いものなどはご遠慮ください。)

■申込書締切：8月31日(金)

■納品期間：保管上の都合により、誠に勝手ながら 9月18日(火)～9月28日(金)の期間での納品にご協力ください。

パンフレットご出稿や景品提供にご協力いただける方は、以下校友会事務局までご連絡ください。

✉ koyujimu@ml.rikkyo.ac.jp

☎ 03-3985-2634

※詳細は校友会ホームページをご覧ください。



パンフレット掲載イメージ

校友会ホームページをリニューアル



5月21日(月)に校友会ホームページをリニューアルいたしました。新しいページでは、スマートフォンからもスムーズに閲覧いただけます。また、地域立教会・職域立教会等、校友会公認の立教会の皆さまはイベントの開催案内をご自身でホームページにアップできるようにしました。まずはアカウント申請が必要となりますので、下記よりアクセスをお願いします。



『立教学院150年史』への資料提供のお願い



ご提供いただいた学生生活資料

✉ z3000450@rikkyo.ac.jp
☎ 03-3985-2758

立教学院史資料センターでは、2024年の創立150周年に向けて「立教学院150年史」の編纂を進めており、関係資料を広く収集しています。例えば、学生時代の写真・講義ノート・教科書・手帳なども貴重な資料です。お気づきのものがあればお気軽にご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

立教学院展示館 香蘭女学校 創立130周年記念 特別企画展のお知らせ

立教学院展示館では、立教大学の系属校である香蘭女学校創立130周年を祝して「咲くはわが身のつとめなり」香蘭女学校130周年のあゆみ」特別展を開催しています。9月28日(金)まで。

立教大学130周年を祝して「咲くはわが身のつとめなり」香蘭女学校130周年のあゆみ」特別展を開催しています。9月28日(金)まで。
http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/hfr/

オープンマーケット出店者・教室貸出希望者募集



地域立教会、ゼミ、クラブ等の団体のほか、個人でもお申し込みできます。

■オープンマーケット 例年、食べ物、雑貨等の販売で盛り上がりしています。
■教室貸出 ゼミ・クラブの友人同士の待ち合わせや休憩スペースとしてご利用ください。
申し込み期間 8月27日(月)～9月14日(金)
連絡先／校友会事務局
☎ 03-3985-2634
※いずれもお電話でお申込みください。※定数に達し次第締め切ります。

校友会行事開催報告

海外支部交流会

4月13日(金)に海外支部交流会を開催し、海外支部の代表者約25名が池袋キャンパスに集いました。第一部として大学幹部と海外支部代表者との「茶話会」をセントポール会館で実施。和やかな雰囲気の中、郭総長や池田国際化推進担当副総長等と海外支部代表者が大学の近況や国際化について意見を交わしました。

地域支部代表者会議

4月14日(土)に池袋キャンパスにて地域支部代表者会議を開催し、約130名の地域・海外立教会役員が出席しました。和田会長、郭総長による挨拶の後、「校友会成績優秀者留学支援奨学金」受給者 伊勢川真由さん(コミ政3年)からのお礼のスピーチがありました。奨学金を活用して海外で貴重な経験をしてきたという伊勢川さんの話に、地域支部の代表者は熱心に耳を傾けていました。



和田会長と奨学生

2017年度校友会奨学金授与者

高橋 美帆	文学部文学科 英米文学専修4年
金子 聖奈	文学部文学科 日本文学専修4年
畑田 峻	理学部化学科4年
若菜 碧	理学部生命理学科4年
八重樫 瑞	社会学部現代文化学科4年
梅原 希実	法学部政治学科4年
笠原 純奈	観光学部観光学科4年
大島 康宏	コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科4年

校友会外国人留学生奨学金授与者

朴 恵蘭	文学部文学科 英米文学専修4年
羅 智厚	文学部文学科 文芸・思想専修4年
MAKINODAN, MELISSA AKINA	異文化コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学科3年
徐 絵青	経済学部経済学科2年
廖 偵仔	経営学部経営学科2年
李 欣彤	異文化コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学科2年
王 天予	法学部法学科1年

定期代議員会

5月12日(土)に定期代議員会を開催しました。まず、各校友会奨学金や課外活動に関する報告がなされました。次に2017年度事業報告・収支決算・監査報告が総務委員長や財務委員長から提案され、審議の結果、すべて承認されました。

会員総会

5月12日(土)に会員総会を開催しました。郭総長より、立教大学の今後の展望やプロジェクトについてお話があり、立教大

レディスクラブ会員総会

5月19日(土)、セントポールズ会館にて、郭総長、曾山校友



挨拶をした川合晴大さん

4月13日(金)、学生を主な対象とした講演会・立教の先輩に学ぼう! 世界で活躍する立教の卒業生を開催いたしました。この講演会は、グローバル化を進める母校の力になりたいという、海外支部立教会からの提案により実現したものです。講師にカンボジア立教会から津吹達也氏(平9年)、シンガポール立教会から堀口純一氏(平12経)をお招きし、海外で働くことについ

海外支部交流会

海外で働く校友による
学生向け講演会を開催



堀口純一氏(ZEROBILLBANK
代表取締役CEO)

てお話しいただきました。日本、シンガポールでの勤務経験をj、99%の日本人が一生に1回も行かないと言われるイスラエルで起業をした堀口氏「行ってみようと思ったよりも安全な国だった」と話します。しかし、堀口氏自身もイスラエルで起業することが決まった後、イスラエルとパレスチナの衝突が激しくなり、渡航を躊躇ったという経験をしました。いつ争いが起きるかわからないという情勢もまた、イスラエルの現実。そういった

堀口純一氏講演

た日本と全く異なる社会環境から、人々の考え方も大きく異なるのだそうです。

「Enjoy Your Problems.」

堀口氏はイスラエルに住むユダヤ人のこの言葉に感銘を受けたと話します。「安全な国で暮らす日本人は失敗しないように行動するけれど、ユダヤ人は挑戦する。12回までは失敗してよい、むしろ失敗していい」ということは挑戦していいと思われ「イスラエルという国で常に挑戦をし続けてきた堀口氏は「できるかできないか、ではなく、やるかやらないかを常に考えてほしい」と学生たちに熱いエールを送りました。

津吹達也氏講演

カンボジアのキリロム工科大



津吹達也氏(キリロム工科大学
副学長/元本学兼任講師)

要性について講演をしました。今、日本とアジアの人口比は1:34。平均年齢も若く、今後ますます成長していくことが見込まれます。一方、現在カンボジア・プノンペンにいる日本人が2千人であるのに対し、韓国人は2万人、中国人にいたっては20万人。津吹氏が初めて海外に出た約20年前はアジアでの日本企業存在感はとも大きくたそうですが、今は日本の存在感がどんどん薄れていると津吹氏は危機感をもって話します。

学副学長として大学の経営に携わる津吹氏は、これからの「アジア」の重要性について講演をしました。



講演会終了後は、海外支部代表者と学生たちの交流会が行われました

「どこで働くか、誰と働くか」

そういった状況だからこそ、これからは日本で働くこと、日本人と働くことが当たり前ではなく、どこで働くか、誰と働くかが重要な選択となると話し、学生時代にどんどん海外に行き見聞を広めてほしいというメッセージで締めくくりました。

11月17日(土)開催!
埼玉県校友の集い@鴻巣



「埼玉の魅力再発見」をテーマに若手校友を中心とした実行委員会が新たな催しに挑戦的に取り組みます。世代を問わず楽しめる催しを豊富に準備して皆さまをお待ちしています。

日程/2018年11月17日(土)場所/鴻巣市市民活動センター
【第1部】埼玉出身校友による公開講演会

「グローバルの可能性」圧倒的に活躍する地域人材になるためには――

登壇者/山田香織氏(盆栽家・平12経)、小川秀樹氏(埼玉新聞社社長・昭60教)、逸見敏郎氏(立教大学学校・社会教育講座教授・昭60社)

【第2部】校友の集い

埼玉の食やお酒を味わえる懇親会を開催します。県内で音楽活動をされている校友や、マジックショーで活躍されている校友によるアトラクションも計画。この機会に、埼玉県と立教の魅力を見つけてください!
※埼玉県在住の皆さまには9月中旬にご案内状をお送りします。

事務局の交代

【着任のご挨拶】



(左)小野田 哲二郎
(右)鈴木 敦

このたび、12年ぶりに校友会事務局に復帰することになりました。小野田哲二郎でございます。今年度は松坂投手も12年ぶりに日本球界で勝ち星を挙げましたので、私も古巣に戻って、校友の皆さまのために、何かよい結果を残せるようにもうひと頑張りしたいと思います。

【退任のご挨拶】

2009年4月より約9年間担当した校友会事務局を退任し、6月1日より入学センターに異動いたしました。多くの校友の皆さまと交流する機会に恵まれたことに心より感謝しています。今後は一校友として校友会活動に参加していくとともに、経験を生かし、本学の発展のため尽力していきます。引き続きご指導・ご鞭撻の程、お願い申し上げます。鈴木敦(昭62法)

懐かしい仲間との再会

年次別
校友の集い

〈対象卒年〉

昭和33、43、53、63、
平成10、20、25年の皆さま

開催スケジュール

対象卒年	開催日	受付(予定)	懇親会会場
60周年の集い	昭和33年	10月14日(日) 11時~	太刀川記念館3階 カンファレンス・ルーム
50周年の集い	昭和43年	10月14日(日) 14時30分~	第一食堂
40周年の集い	昭和53年	11月24日(土) 15時~	第一食堂
30周年の集い	昭和63年	9月29日(土) 15時~	第一食堂
20周年の集い	平成10年	10月 6日(土) 15時~	第一食堂
10周年の集い	平成20年	10月14日(日) 14時~	太刀川記念館3階 カンファレンス・ルーム
5周年の集い	平成25年	10月27日(土) 16時30分~	第一食堂

おめでとうございます

同窓の先輩や後輩、
そして仲間たちの活躍にご注目ください。

サンケイ総合印刷株式会社 代表取締役社長就任
鶴田 東洋彦(昭54管) 〈前産経新聞社常務取締役〉
株式会社東急モータースデベロップメント 代表取締役社長就任
秋山 浄司(昭57観) 〈前副社長〉
NCホールディングス株式会社および日本コンベヤ株式会社
代表取締役社長就任
梶原 浩規(昭61社) 〈前取締役監査等委員〉
オリックス・ファシリティーズ株式会社
代表取締役社長就任
田中 信(昭63法) 〈前専務取締役〉
大和製罐株式会社 代表取締役社長就任
山口 裕久(平3管) 〈前副社長〉
株式会社ジー・ティスト 代表取締役社長就任
阿久津 貴史(平6管) 〈前副社長〉
三菱三菱自動車販売株式会社 代表取締役社長就任
出口 哲也(平9管) 〈前取締役専務〉

※2018年6月30日までに就任・受賞・当選された方を掲載しています。(卒年順・敬称略)

第3期叡王獲得 高見泰地棋士(平29史)



棋士になりました。将棋一本という道があった中でなぜ大学進学という道を選択したのでしょうか。

私は立教新座中・高に通っていました。大学受験がある環境であれば、大学に行かないという選択もあったかもしれませんが、まわりもみんな進学する中で、自分だけ大学に行かないということが想像できず、進学を選択しました。実は、過去にプロになってから大学に進学した棋士はほとんどいないんです。「進学して何の意味があるの?」と聞く人も多くいましたが、あえて大学に行くことで何か変わるかもしれないとも考えました。

将棋の第3期叡王戦七番勝負の第4局が5月26日、群馬県富岡市の「富岡製糸場」で行われ、棋士の高見泰地さんが勝利を収め、初タイトルを獲得しました。同時に七段に昇段もしています。対局直後の5月30日、タイトル獲得の報告で来学された高見叡王に将棋のことや大学生活のことなど、校友会ならではの話を伺いました。

タイトル獲得おめでとうございます。今の気持ちはいかがですか。

出場するからにはタイトルを獲得、という気持ちで挑んでいましたが、実際に叡王になるとやはり嬉しいですね。大学のSNSなどで取り上げてくださったおかげで、立教の皆さんがたくさん応援してくださったのも大きな力になりました。

将棋を始めたきっかけは何ですか。

6歳のとき、父親がボードゲームを買ってきたんです。オセロやダイアモンドゲームなど複数のゲームがあったのですが、一つだけ漢字が書いてあった将棋に目が留まりました。他のゲームと違う雰囲気があり、子どもながらにかっこいいなと。それが将棋との出会いでした。ね、初めに将棋のルールを教えてくださいました。

高見叡王は高校3年生でプロ



優勝報告に来学してくださいました

将棋部に所属はしていたものの、プロ棋士なので大学生の大会にはもちろん出られません。応援には行くので何度か出たいなと思いましたね。ただ、出場できない分、少しでもみんなが強くなるお手伝いをしよう、と部室で将棋を教えたりしていました。今でも時間が空いていれば顔を出しています。将棋に真

大学では将棋部にも所属されていましたが、活動はいかがでしたか。

高見叡王直筆サイン プレゼント

限定5名

叡王獲得を記念して、高見叡王直筆のサインを抽選で5名様にプレゼントいたします。

申込締切：2018年8月31日(金)
申込方法：件名に「叡王サイン申し込み」とご記入のうえ、「お名前／卒年／アドレス」をメールにてお知らせください。
✉ koyu@grp.rikkyo.ne.jp
当選者への発送方法：2018年9月以降に郵送いたします。



本人直筆のサインです

ホームカミングデーにも
出演予定！
詳細はHPへ

剣に取り組んでいる後輩たちは本当にかわいいですね。
今回の叡王戦は1カ月以上の長い戦いでしたが、一番苦しかったのはどういう場面ですか。
実は、3連勝して残り1勝という3局目と4局目の間が一番苦しかったですね。「もしこれでタイトルを獲得できなかったら後悔する」と思い始めたんです。そう思ったときが一番危なく、自分では冷静でいるつもりですが、勝ちたいという思いが高まって気持ちが前に出過ぎてしまっている。精神的に苦しい時間でした。

将棋は精神面が非常に重要なですね。

は嬉しかったですね。面白かったのは、卒業して1年経った友人たちがみんな同じように、大学の時間がどれだけ楽しかったかが、今わかったと言っています。私からすると、卒業してやっと将棋一本でやっていけると、水を得た魚状態だったのですが、みんなは大学時代が水を得た魚。友人達と異なる境遇にいたことを、その時あらためて実感しました。それでもみんなと同じ時間を過ごせたことはよかったと思っています。

高見叡王にとってのライバルは？

同じ年数だけ生きているので、同じ歳の棋士には負けたくないという思いが強いんです。負けたときは自分に何か足りなかったのかなと。今まで一番悔しかった対局も同じ歳の棋士に負けたときでした。高2の時にプロになれるチャンスがあったのですが、同じ歳の棋士に負けてプロ入りを逃しました。そのあと、何度もその対局が夢に出てくるほど悔しかったことを今でも鮮明に覚えています。

最後に、校友の皆さまにメッセージを。

私の潜在的な能力を引き出してくれたのが立教大学だと思っています。辛い時期、悩んだ時期もありましたが、内面的なものを大きくしてもらいました。今後も定期的に立教のニュースに掲載してもらえよう頑張りたいと思いますので、応援よろしくお願いします。

売り手市場続く 今春卒業生の就職状況

2017年度卒業生に占める就職者の割合は84・0%(学部卒)と、非常に高い結果となりました。2017年度卒業生が当初志望していた業種の1位は製造業約24%、2位は通信・マスコミ約15%、3位がサービス業約13%でしたが、実際の就職結果は、1位が金融・保険約18%、2位はサービス業(約16%)、3位が製造業約15%という結果になりました。なお、公務員は約7%でした。

2017年度 卒業生の主な就職先(上位30社)

順位	企業名	人数合計	順位	企業名	人数合計
1	東京都特別区	63	16	住友生命保険(相)	17
2	(株)みずほフィナンシャルグループ	53	17	東京海上日動火災保険(株)	15
3	損害保険ジャパン日本興亜(株)	29		東日本旅客鉄道(株)	15
4	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	27		アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	15
5	全日本空輸(株)	26		東京都庁	15
	国家公務員一般職	26	21	三菱UFJ信託銀行(株)	14
7	(株)三菱UFJ銀行	24		明治安田生命保険(相)	14
8	三井住友海上火災保険(株)	23	23	富士通(株)	13
9	(株)リソナホールディングス	22		SMBC日興証券(株)	13
10	三井住友信託銀行(株)	21		(株)千葉銀行	13
11	(株)三井住友銀行	19		TIS(株)	13
	日本航空(株)	19		東京都教員	13
13	アクセンチュア(株)	18	28	東日本電信電話(株)	12
14	野村證券(株)	18	29	(株)NTTドコモ	12
15	第一生命保険(株)	18	30	日本生命保険(相)	12

周防正行映画監督(昭56仏) 相撲部「名誉監督」就任後初の活動

5月26日(土)、体育会相撲部(監督：坂田直明氏/平7社)が稽古総見を開催し、「名誉監督」の周防正行氏(映画監督)と「名誉部員」の榎井省志氏(映画プロデューサー・アルタミラピクチャーズ代表取締役)が、就任後初の活動として参加しました。会場である新座キャンパス体育館の相撲場には、OB・OGを含む関係者約35人が集まり、相撲部の現役選手やOBを含む8人がまわしを締め、両氏が見守るなか2時間ほど稽古に励みました。



稽古を見学する周防名誉監督(上段左から3人目)と榎井名誉部員(上段左から4人目)

経営学部インターンシップ 受け入れ企業を募集いたします

経営学部では、正課としてLong-term Global Internship科目を開講しています。様々な業種、業態の企業様に協力を得て、学生の実践力を高める就業機会を提供したいと考えております。つきましては、ぜひとも校友の皆さまのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

◆対象／校友が経営もしくは所属している企業
◆期間／夏季・春季休暇中に4週間(140時間)または春・秋学期中に4カ月間(560時間)
※詳細は経営学部HPのNews & Announcementsをご覧ください。

問合せ／経営学部国際交流事務局(担当：岸田)
03-3300851-4241
cobintern@rikkyo.ac.jp

立教スポーツ

各部の成績

サッカー部

第50回関東大学サッカー大会
(2017年10月29日～11月19日)



41年越しの快挙。主将の関根陸(29年度卒)を筆頭に、関東2部昇格を見事果たしました。昇格決定戦では、延長戦の末に相手の国武大から

水泳部

第34回日本身体障がい者水泳選手権大会
(2017年11月18日～19日)



パリンピック水泳の星・鎌田美希(コ3)が大記録を打ち立てました。出場した100m平泳ぎSB8クラスでは

洋弓部

2018年度関東学生アーチェリーリーグ戦
(3月25日～5月6日)

リーグ戦を3勝2敗で通過



した立大洋弓部が、5位決定戦で専大に逆転勝利！主将の有村達志(社4)を中心に、選手らは思い一つに、創部史上初の王座進出を掴み取りました。また女子も3年ぶりの1部昇格の快挙達成。

テニス部女子

平成30年度関東学生テニストーナメント大会
(4月14日～5月6日)

昨年インカレでベスト8に輝いた村橋舞(文3)・高橋未来(法4)ペアが、春関で8強入り。それでも本人たちは優勝できなかったことに悔しさをにじませ、今年のインカレでベスト4超えを目指します。



女子ラクロス部

2018年度関東学生ラクロスユニストーナメント・あすなろカップ
(5月3日～4日)



夏、冬の新人戦で2冠を達成している立大女子ラクロス部αが、最後の新人戦であるあすなろカップでも優勝！決勝では立大βとの接戦を制し、破竹の3冠で新人戦を締めくくりました。MVPには大川祐季(異)が選ばれました。

空手部

第17回アジアジュニア&カデット、U-21空手道選手権大会
(5月11日～13日)

大型ルーキー・山中望未(済1)が、大学デビュー戦でアジアの頂点に立ちました！インハイ優勝など多くの受賞歴のある新星が、大学でも庄巻の演武を披露。9月に行われる世界大会でも、世界王者を目指します。



写真・情報提供：体育会機関紙「立教スポーツ」編集部

母校の応援に行こう！

創部87年目を迎える体育会応援団。今年は特に多くの新入生を迎え、総勢130名という大人数で体育会の選手たちを全力で応援しています。



初めまして。立教大学体育会応援団、2018年度団長を務めております、黒田雄介と申します。ここ数年で、立教大学体育会のレベルはかなり上がって参りました。その結果が昨年春の硬式野球部の全日本優勝であったと思います。

応援団も今年で創部八十七年目を迎えました。伝統を受け継ぎつつ、八七の代として、その名の通り華やかな応援で各体育会の選手を全力で後押しして参ります。是非、母校の応援にいらっしゃってください。応援席で先輩方にお会いできるのを心待ちにしております。



東京六大学バスケットボールリーグ戦陸前高田大会

OBたちの熱意が形に

2018年3月16日～18日、陸前高田市総合交流センター「夢アリーナたかた」開設記念フレイメントとして第14回東京六大学バスケットボールリーグ戦陸前高田大会が開催されました。「心と心を通い合わせる」をテーマとして開催された本大会は、リーグ戦に加え、市内の小・中・高校生向けの大学生による基礎練習指導、交流試合、ダンクコンテストなどのイベントも併せて開催されました。本学体育会バスケットボール部員を含めた東京六大学の学生約110人に加え、小・中・高校生は約150人が参加しました。



大学生との交流を楽しむ陸前高田の子どもたち



大学生の迫力あるプレーに子どもたちは圧倒されていました

な支援活動・交流活動を継続しています。このようなつながりの深化の中、2017年4月、陸前高田市協力のもと岩手大学とともに陸前高田グローバルキャンパスを開設、その中に陸前高田サテライトを設置しました。一方、東京六大学バスケットボールリーグは、東日本大震災以降、チャリティーマッチ等による復興支援活動を行ってききました。本大会は、陸前高田サテライトの開設を機に、「陸前高田でリーグ戦を開催したい」という本学バスケットボール部OBらの熱意により、実現したものです。参加した子どもたちは「大学生のプレーは迫力があった驚いた、大学までバスケット続けたいと思った」と笑顔を見せていました。

立教大かたコミュニティ大学開催のお知らせ

立教大学陸前高田サテライト



国谷裕子氏



若杉遥氏

では、陸前高田市にて市民向け講座「立教大かたコミュニティ大学」を開講しています。2018年度は「いきるを考える」という全体テーマのもと、社会学部・小倉康嗣先生、理学部・青木昇先生・杉山健一先生による講座のほか、ロンドンパリンピック金メダリスト・若杉遥氏(平30社)と元全日本女子ゴルフボールチームヘッドコーチ・江黒直樹氏による講座やNHK「クロースアップ現代」でおなじみのキャスター・国谷裕子氏による講座も開講します。詳細は決定次第、陸前高田グローバルキャンパスウェブサイトでお知らせいたします。
<https://tbc.jp/>

学生による復興支援活動

7年間つないできた現地との絆

「2011年3月11日の地震発生時は、まだ中学2年生で合唱の練習中でした。グラグラ揺れてピアノの下にみんなで隠れた覚えはありますが、当時はまだ自分事と捉えられず、どこか遠くの出来事だと思っていましたね」と話す大島康宏さん(コミ政4年)は、新座キャンパスで活動をしている東日本大震災復興支援団体「Three-S」の第7期代表を務めました。

「宮城県石巻市と女川町を中心に現地の方と話をしたり、お祭りのお手伝いをしたりという交流支援をしています。震災から7年が経過し、復興支援というよりは地域ボランティアという形に近く



学園祭で石巻やきそばを出店しました



自身の活動について話す大島さん

なりました。それでも、お話を聞いている中で時々震災の話が出てくることもあり、町としての復興は進んでも、住民の心には深く刻まれた傷跡があると感じます。

震災から7年。Three-Sは今、約30名のメンバーで活動していますが、これからの支援活動の在り方を考えるタイミングにきたと思います。後輩たちには、今まで築いてきた現地との絆を次の代にも繋げてほしいと考えています」

熊本が好きだからこそ発信し続ける

体育会サッカー部に所属する高山賢太郎さん(コミ政2年)は、熊本県熊本市出身。2016年の大地震が発生以来、支援活動を行っています。

「高校生までロアッソ熊本のユースチームに所属していたため、前震が起きた4月14日も夕方までグラウンドのある益城町で練習をしていました。あの日以来、いつも練習をしていたグラウンドは避難所となりました。祖母の家も被害があり、見慣れた景色が一変したことに大きなショックを受けました。

その後、自分の思いを形にしたいと震災に関する手記を新聞に投稿すると、大きな反響があり、熊本県教育委員会が作成した「つなぐ」熊本の明日へ」という道徳副読本(中学生用)にも掲載されることになりました。しかし、熊本を離れた今強く感じることは、世間では「風化」しつつあるということです。熊本



サッカーをして子どもたちとハイタッチ



活動について話す高山さん

出身で熊本が大好きな者の使命として発信し続けなければいけないと考えています。具体的には被災地での交流支援をしています。仮設住宅で暮らす方が多くいる地域の学童施設で子どもたちと一緒にサッカーをし、日本中の人が熊本を応援しているということを伝えました。部活の練習があり頻繁に熊本に帰ることは難しいですが、次は年末年始にサッカー教室を開催する予定です」

中学生時代の3年間、世代別のJリーグ選抜に選出され、キャプテンを務めた経験がある高山さんは、そのつながりを生かした「自分なり」の活動を行っています。

海外・地域

2017.12.末
韓国立教校友会
2017年末定期集会
LOTTE HOTEL ソウル



久しぶりの再会となりましたが、お互いの職場の話などで楽しい時間を過ごしました。時には現役の学生たちが参加する機会もありますので、立教大学の卒業生であればいつでも喜んで歓迎いたします。卒業後、韓国に帰ってくる後輩たちを心よりお待ちしておりますのでぜひ訪ねてください。BANDから口グインし「立教韓国同窓会」と検索してください。(金映中/記)

2018.1.28
佐倉立教会
史跡ハイキング
宿場町白井宿



健康増進を目的とし、佐倉市(日本遺産に認定)かつ、長嶋茂雄さんの故郷でもある「白井地区」を回りました。白井は原氏の城下町として栄え、太田図書(太田道灌の弟)、上杉謙信等との争いがあった所です。あいにくの曇り空ではありますが、急峻な坂道を上り下りする間に、体も温まって来て、体力増進となりました。(副会長・荒明/記)

2018.1.31
大分立教会 新年会
アリストンホテル大分
大分立教会の新年会が26人の



参加で開催された。物故者に黙祷の後、小口展弘会長があいさつ。河野剛・元会長の音頭で乾杯。年代の違いを超えて近況を語り合うなど歓談。全員で校歌・応援歌を斉唱し、暑気払いでの再会を誓って散会した。(平14 宮・小野尚洋/記)

2018.3.3
中野立教会ウイメンズ
立教大学キャンパスツアー
池袋キャンパス



今年のウイメンズ企画は男性の参加も得、17名でキャンパスツアー。大学職員の方の案内で池袋図書館を見学。公開されていないバックヤードエリアや、普段は閲覧に特別な手続きが必要なレアな資料も見せていただきました。ポール・ラッシュ・アスレティックセンターの屋上コート、50mプールを見学すれば「今の学生が羨ましい!」。立教学院展示館を巡り、セントポールズ会館の松本楼でランチを楽しんで、充実した一日を過ごしました。(王井和子/記)

2018.4.14
サンパウロ立教会 会合
東京

ブラジルに縁のある立教関係者が集まり、一時帰国中のサンパウロ立教会 占部会長を囲みました。留学を目指す現役学生、帰国した学生、ブラジル人卒業生、留学・駐在・幼少期に滞在していた卒業生、立教ラテンアメリカ研究所の丸山教授等多様



なメンバーで、初の東京会合とは思えないほど盛り盛況となりました。今後も懇親を深め、留学生・

ブラジル留学を目指す学生をサポートします。(岡田/記)

2018.4.21
川崎立教会 総会
ホテル精養軒



武蔵小杉の「ホテル精養軒」(昭52 仙卒・萩原ひとみ社長)にて、校友会副会長の

中島弘人様、事務局の安藤豊様をお迎えし、31名が一堂に会しました。講演会では、米谷紳之介氏(昭56 法卒)による「野球界・映画界の巨匠監督の話」。ラストは応援団OBの風間進氏の立教エールで締めくくり、再会を約してお開きとなりました。(幹事長・町田香子/記)

2018.5.16
伊東立教会 総会
伊東市東松原 山喜旅館

伊東立教会総会前に全員で、校歌、応援歌を歌い、絆を深めました。その後、前年度の活動報告、近況を話し合いました。今年4月に伊豆半島が「世界ジオパーク」に認定され、「伊豆ペロドローム」は2020年にオリンピック・パラリンピックの自転車競技の会場となり、伊東駅からもシャトルバスが運行され、地域の活性化、経済の発展、観光客の来訪が期待されます。我々も協力し、お役に立ちたいと思います。(会長・林都太郎/記)

クラス・同窓

2017.10.15
昭和38年法学部
1年D組クラス会
えん池袋西口店



今回は卒業50年にあたる記念すべき会となった。出席者の一部は、校友会主催の「卒業50周年の集い」に参加した。クラス会には、遠路、熊本から岩尾氏、山口から立石氏が出席した。会では旧交を温め、近況を語り合った。(坂東/記)

2017.10.21
第48回
ミツチエル館同窓会
第一食堂 藤だな



第48回ミツチエル館同窓会には、50名余りの方々が御参加くださいました。ミツチエル館の歴史をふり返るスライドを見ながら昔の思い出話で盛り上がり、親睦を深めました。本年度の同窓会は来る10月20日(土)12時から15時、会場は「藤だな」です。ぜひ御参加ください。(吉野/記)

2017.12
昭和42年卒業経営学科
「O組有志の会」
兵庫県六甲山



卒業して半世紀、昔のワル仲間が集まって六甲山に「泊二日の旅行」に。関東地方4人、九州2人、関西から1人の計7人JR三ノ宮駅に集合。宿舎では早速来し方行く末のミーティング。学生時代はみんな麻雀学科だったが、社会人になってからはよく働いた。今後は、「老いと病に気力で立ち向かう」ことで一致。翌朝には標高900mの山頂に立ち、十字の校旗をかざし記念写真をパチリ。(山下智久/記)

2018.3.3
昭和36年入学
経営学科N組クラス会
銀座ライオン 池袋

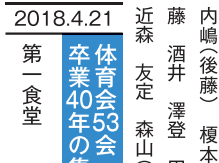
あれこれあっても今年は17名の



が参加。分母がだんだん少なくなり、さすがに元気の仲間との素晴らしい再会に大いに盛り上がり、大変に有意義な会でした。参加できることが素晴らしい。体幹ゲーム、じゃんけん大会、最後は多田氏の校歌でお開きでした。来年も3月2日12時に4丁目でお会いしましょう。(友定/記)



2018.4.21
体育会53会
卒業40年の集い
第一食堂



53会とは、昭和53年に体育会各部で4年生だった、同期の会です。全国から32部98人の仲間が集まりました。来賓の加藤体育会長に奨学金を寄付として贈呈しました。みんな、また会おう。元気だな!(幹事・小野藤太郎/記)



2018.4.28
昭和38年入学経済学部
経営学科N組クラス会
新橋亭

卒業から半世紀を経て、初めてクラス会を開催。校友会に級友の住所を申請。33名の住所が判明し連絡した結果、8名が集いました。学生時代の思い出話に時を忘れ、楽しい会となりました。抽選会でゲットした立教



グッズをお土産に、次回の再会を約し散会しました。(柿崎/記)



2018.5.12
昭和28年文・Cクラス会
第一食堂 藤だな



五月晴れの空にキャンパスの緑がよく映える素晴らしい好天に恵まれ、卒業後61年のクラス会を行いました。参加者は11名。お互いの近況報告を聞きながら親睦を深め、62年目の再会を約して散会しました。(小林/記)



2018.5.19
中国語三階クラス
而立会支部
北区立田端区民センター
ふれあい館第3ホール



立教で30年以上にわたり中国語を教えられた三階正道先生が理事長を務める、而立会春の大会において、立教大学同窓会而立会支部が成立しました。而立会は、中国語教育と翻訳に関する活動を行っています。10月4日(木)には「今、中国が面白い」第12巻刊行を記念して、講演会を開催する予定です。みなさんどうぞお集まりください!(昭58 日文卒・高崎國松 由理/記)

chaye26@docomo.ne.jp

校友の広場



クラブ・ゼミ

2018.2.17
体育会馬術部
創部90周年記念祝賀会

品川プリンスホテル



O B O G会主
催で、日本馬術
連盟及び各馬術
連盟、他大学馬
術部、そして立
教大学総長はじ
め学院関係の
方々をお招きし
て総勢150余
名。90年間の歴
史を今まで支え
て下さった数多
くの方々への感
謝の気持ちと共に、
創部100周年
に向けて部の更
なる飛躍を願って、部員達と一
緒に皆でお祝いしました。
(昭50日文・副会長 鈴木明子/記)

2018.2.24
倉田幸路教授最終講義・
懇親会

池袋キャンパス



2017年度
をもって退職さ
れた倉田幸路教
授(経済学部)の
退職記念行事が
行われました。
学会関係者、ゼ
ミO B・O G及
び現役生が集ま
り、約120人での盛大な行事
となりました。まず開かれた最
終講義では、先生のお話に時折
会場から笑いが起こる場面も見
られ、その後行われた懇親会
では、第一食堂いっばいに素敵な
会話が飛び交い、終始和やかな
雰囲気でした。(菊地/記)

2018.3.18

シーズンスポーツクラブ
50周年記念式典
東京芸術劇場内
ALTEA T R O

創立時顧問の伊藤森幸先生



初代キャプテン
の須田さん、参
加したO B O G
全員が挨拶し、
現役生の活躍も
映像で紹介され
ました。カナダ
からの参加者も
あり、思い出話
や近況の報告で
おおいに盛り上
がり、次回の55
周年の再会を約
束して記念写真
をとりました。(Facebook
ページ「立教四季遊学舎」もご参照下
さい三富圭也/記)

2018.4.7

B S A第5支部
O G・O Bの会

セントポールズ会館



部が活動終了を
して久しく、十分
な周知ができてず、
昭和33年から53年
の連絡がとれた
方々20名が参加し
ました。卒業以来
の再会の方もおり、
現況報告などを楽
しく伺いました。
より多くの参加を
願い、次回は2年
以内に開くことに
し、新歓で賑わう
四丁目を散策しな
がら散会しました。(昭42法・宮
崎/記)

2018.5.11

故西山千明名誉教授を
偲ぶ会

セントポールズ会館

昨年11月に93歳にて逝去され



創設からの貴重なお話をしてい
ただきました。また、研究発表
懇親会等が行われ、温かい交流
ある時間を過ごしました。今年
は10月27日(土)に開催予定です。
是非、新座キャンパスへ足をお
運びください。



た西山先生を
偲んで、西山
ゼミ卒業生に
よる先生を偲
ぶ会が、セン
トポールズ会
館で行われま
した。当日は
O B・O Gの
50名が参加し
た。ご遺族の
ご子息、ご令
嬢等もご出席
いただきました。

2017.11.11

「コミュニティ福祉学会」
「まなびあい」
新座キャンパス

卒業後、任意で納入いただく
維持会費は、校友会予算の約
10%を占める重要な財源です。
2017年度は約5,240
名の方から、約2,500万円
の維持会費を納入いただきま
した。引き続きのご協力、よろし
くお願いいたします。
維持会費などの校友会費は次
のように使用しています。
◆奨学金
◆体育会活動奨励金
◆ホームカミングデー等の各種
イベント実施
◆会報誌を始めとする広報活動



維持会費
新規納入者向け
キャンペーンのご案内

校友会活動にとって重要な維
持会費を多くの方に知っていただ
くため、新規納入者向けキャ
ンペーンを実施いたします。

内容
初めて、または久しぶりに維
持会費を納入くださった方に校
友会グッズをプレゼント！

対象者
2018年5月1日～10月14
日までの期間内に初めて、また

母校の大学院で
学んでみませんか？

独立研究科運営部長
亀川 雅人



ビジネスデザイン研究科

リベラルアーツの大学がデザ
インした大学院で、特定の専門
領域にとどまらず、多種多様な
科目群と異なる経験を持つ社会
人が集うことで、ビジネスをデ
ザインする人間力を涵養します。
2018年度より、厚生労働省
の「専門実践教育訓練給付金」の
対象指定講座となり、働きのな

維持会費振込先 一口3,000円以上の納入をお願いしております。

銀行名	支店名	区分	口座番号	名義
ゆうちょ銀行	〇一九	当座	0019089	立教大学校友会
三菱UFJ銀行	西池袋	普通	4333065	
みずほ銀行	池袋西口	普通	1007809	
三井住友銀行	池袋	普通	0985679	
りそな銀行	池袋	普通	0673910	

※振込入力例：S60コウユウタロウ(昭和60年卒業の校友太郎さんの場合)
振込入力時には、卒年・お名前を必ずご入力ください。上記のようにご入力いただ
いた方は、年に2度発行している維持会費納入者一覧にお名前を掲載させていただきます。

いつも協力くださって
いる皆さまへ

は久しぶり*に維持会費を納入
くださった方。
*2013年4月～2018年4
月の期間納入をお休みされている方
へ
■金額
3千円～(6千円以上お支払
いの方にはさらに素敵なプレゼ
ント！)
■プレゼント
12月中旬発送予定。
※グッズの内容・数量のご指定はお
受けいたしかねます。

秋からの公開講座
受講生募集

アジアで初の
観光教育機関として

観光研究所の起源は、戦後す
ぐ1946年に開設された「ホ
テル講座」にまで遡ります。「ホ
テル講座」はアジアで初めての
観光・ホスピタリティ教育機関
で、開設当初より広く社会に門
戸を開いた「公開講座」として運
営されてきました。1967年
に創設された観光研究所はこの
講座を引き継ぎ、以来、多数の
観光人材を育成し、輩出してき
ました。18年度は秋学期に2つ
の公開講座を開講します。校友
の皆さまの受講を心よりお待ち
しております。



観光研究所開設50周年記念シンポジウムの様子

ホスピタリティ・
マネジメント講座

この講座は、宿泊産業を中心
に、ホスピタリティ産業の経営
について理論的かつ実践的に学
ぶための講座です。マーケティング、
人事、デザイン、法規、
地域振興、投資など多岐にわた

観光地経営専門家
育成プログラム

従来からの観光事業の枠組み
にとどまらず、広く地域経営、
あるいはまちづくりの観点から
観光地としてのあるべき姿を描
き、革新的に再構築を図ってい
くための専門的な知識やスキル
を持った人材「観光地経営専門
家」を育成する講座です。

2018年度の概要
講義日/9月23日、10月7日、
10月21日、11月25日(全11講義)
フィールドワーク/
飯山・10月13・14日
川越・11月11日
修了講演・修了式/12月1日
会場/立教大学池袋キャンパス
募集期間/8月31日～9月10日
受講料/6万8千5百円
問合せ/立教大学観光研究所
03-36685-2577
✉ kanken@rikyo.ac.jp
※詳しくはウェブ「観光研究所」で
検索をご覧ください。

21世紀社会デザイン研究科

21世紀が直面する社会運営上
の諸問題に現実的に取り組み、
その解決のための具体的な方法

ら学ぶビジネスパーソンの経済
的負担は大幅に軽減されること
になります。
http://www.rikyo.ac.jp/
sindaigakuin/bizsite/
sindaigakuin/bizsite/

入試要項

10月27日(土)
オープン大学院/9月22日(土)
http://www.rikyo.ac.jp/
invitation/admissions/graduate/
daigakuin2019/

ガイド

レディスクラブからの
お知らせ

●公開講座「讃美歌に親しむ」
～バロック期の
ドイツと英国の賛歌～

ベッケラートオルガンの音色と共に、崎山先生が紹介してくださいます。(定員60名)
日時／9月27日(木)14時～16時
会場／チャペル会館
講師／崎山裕子先生(立教学院オルガニスト)
会費／千円(学生無料)
申込先／村田弘美(昭63社)
☎・03-3806-7863
✉ tkkouza@yahoo.co.jp

●カウンセリング研究会
会員募集

箕口雅博立教大学名誉教授によるアドラー心理学・コミュニティ心理学の講座開講に伴い、10月より新規会員を募集します。(経験・性別不問)
日程／第一・三火曜10時～12時
会費／半年分 一万五千元
会場／エポック10(池袋南口)
※初回10月2日(アドラー心理学は無料体験日。お問い合わせの上ご参加ください。
申込先／横山綾子(昭53心)
☎03-4744-3337
✉ tkio.kaken@yahoo.co.jp

●日本語ボランティア募集

立教大学の留学生に日常会話と日本文化を一对一で教えながら交流しています。資格は不要。一週間に一回、90分程度、定期的にレッスンできる方を募集。場所は池袋キャンパス内。
必要に応じて教材などのアドバイスもいたします。
なお、レディスクラブ会員登録が必要です。
連絡先／津田眞美(昭49英)
✉ mitsuda.rst27@mirror.ocn.ne.jp

第5回「立教さいきょう
ゴルフカップ」開催の
お知らせ

今年も開催！アウト・イン13組(計26組)の枠をご用意いたしました。奮ってご参加ください。
日時／10月3日(水)8時半～
場所／高麗川CC ☎042-989-3131
会費／四千円(パーティ・賞品・寄付等)
プレー費用／一万五千元程度
申込方法／立教会で取りまとめても、組単位、お一人でも可。
①氏名、②卒年、③立教会名又は市区町村名をご連絡ください。
申込・問合せ／大賀喜夫(昭47管)
☎090-2418-8545
✉ yoo8@comhome.ne.jp

昭和39年卒業(昭和35年入学)
経済学科A組クラス会

はじめてのクラス会をしたいと思ひます。
日時／10月14日(日)ホームカミングデー終了後
場所／未定(参加人数で決定します)
※詳細は連絡のあった方に随時お送りします。
連絡先／中野利彰
☎090-9140-7058

クラブ経済学会の「第6回
経人会総会」開催のご案内

今秋も経済学会卒業生による「第6回経人会総会」を開催します。同期の方々にお声を掛けて、是非ご出席下さい。
日時／10月5日(金)15時～18時
会場／セントポールズ会館芙蓉の間
会費／六千円
問合せ／小林隆夫(昭42)
☎06-8696-5706
✉ tacalin@com.home.ne.jp

尚、別途ご案内状をご送付いたします。

昭和42年卒業 経済学部
経済学科A組クラス会開催

卒業後4回目のクラス会を開催します。
日時／10月27日(土)12時～15時
場所／セントポールズ会館 すぐかけの間
連絡先／福島壽紀
☎03-5694-0313
✉ tukushinakisaki@com.home.ne.jp
※詳細は8月中旬頃にお知らせします。

春日部・岩槻立教会
総会開催のお知らせ

埼玉県春日部市、及びさいたま市岩槻区の校友が集う「春日部・岩槻立教会」にて第2回総会を開催いたします。春日部市、及びさいたま市岩槻区在住・在勤又は出身の皆様は奮ってご参加ください。ご参加の方は、9月1日までにご連絡ください。
日時／9月9日(日)13時～15時(開場12時30分)
場所／ふれあいキューブ
(埼玉県春日部市南1-1-7)
会費／無料
連絡先／安藤 奏
☎080-4115-3955
✉ kasukaika.rikyo@gmail.com

社会学部産業関係学科
牛窪・服部セミ
総会開催のお知らせ

今年は、当ゼミ卒業生で琉球大学教授の牛窪潔氏に講演をお願いいたします。
日時／9月15日(土) 13時～講演(英語で行います)
邦題「21世紀という時代の新しい経済パラダイムの構築について」
14時～懇親会
場所／立教大学池袋キャンパス第一食堂2階「藤たな」
会費／五千円
問合せ／神林洋治(昭60)※土日の応答になります
☎080-5604-3659
✉ hykamba@nifty.com

第50回
鴻巣立教会
地域立教会を訪ねて

埼玉県鴻巣市のほぼ中央に位置する鴻巣市。江戸時代には中山道の宿場町として栄えた伝統ある町です。現在は、川の幅、花火大会、伝統産業の雛人形を飾る雛壇の高さなど、実は多くの「日本一」があります。立教会も若手の参加率日本一!?」と言っても過言ではないほど、卒業したばかりの校友から大先輩まで幅広い世代が活動に関わっています。そんな活気あふれる鴻巣立教会にお話を伺いました。

設立の経緯を教えてください。

鴻巣立教会は1994年2月19日に発足しました。来年で25周年を迎えます。発足以前から自営業など昔から住んでいる方々が自主的に集まっていたが、広く市内の校友に呼びかけて、もっと交流を深めようというところで立ち上がったのがきっかけです。現在は参加者の半数近くが平成卒で、男女問わず20代の校友も数多く参加しています。2016年には創立から

の役員が一斉に交代し若返りを図りました。また、幹部以外の若い会員にも役割を分担することで、若手の参加意識を育てています。
20代の校友も多く参加しているということですが、若手が集まる秘訣を教えてください。

一度参加した若手校友が友人を呼んでくる「連鎖」が一番大きいと思います。また、若手にも顔が広い、地元の塾や公共機関などに勤務する校友がいることも強みです。知り合いがいなくて、参加をするという最初の一歩を踏み出すのが難しいですからね。また、年会費をとらないこと、公共施設やケータリングを利用するなどの工夫で懇親会費を安く設定したことも参加しやすい理由だと思います。今回の総会・懇親会も参加費3千円で運営しています。

現在は若手校友の方も運営に携わっていますね。

世代交代を進めていくということですが、若手校友に運営にも

積極的に関わってもらっています。本日の総会資料準備、料理の手配等もすべて若手チームが行ってくれました。我々も最初は不安で、若手中心に回していく形を作るまで思わず色々口を出していましたが、今はとても頼もしく、安心して色々任せることができています。

主な活動内容を教えてください。

秋の六大学野球観戦、忘年会、新年会などが主な行事です。また、花火大会にも毎年協賛をしています。この花火大会は、毎年50万人程度の人出があり、四尺玉を打ち上げるという鴻巣市の一大イベントです。他にも、地域に根付いた団体として、地域に貢献する活動も重視しており、「旧町名復活プロジェクト」という活動も行っています。鴻巣市だけでなく日本中で、住居表示法の施行を境に地図上から姿を消した町名が数多くあります。その中には歴史的な由来がある町名も多く、地域の歴史・伝統を守っていくために旧町名を復活させようという動きがこのプロジェクトです。公園など、市民生活に影響が出ないような場所、6つの町名を復活させることができました。まさに鴻巣市に根付いた活動だと考えています。



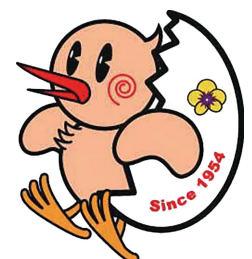
インタビューにご協力くださった皆さま。右から、野口会長、吉田副会長、栗原幹事長、大久保実行委員長。インタビュー中も終始和やかな雰囲気でした



総会での集合写真。多くの若手校友が参加しています



子宝・安産祈願で有名な「鴻神社」。最近、メディアに取り上げられたことで話題に。鴻巣市は観光にも力を入れています



市民に愛される鴻巣市メインキャラクター「ひなちゃん」

11月17日に行われる「埼玉県校友の集い」は鴻巣で行われます。準備状況はいかがですか。

こちらも大久保実行委員長を中心に若手が企画の検討を行っています。料理やお酒は埼玉各地の名物を各立教会に持ち寄ってもらうなど、これまでになく「埼玉らしさ」を前面に出したイベントにできればと考えています。また、「地域に貢献する」ために、公開講演会の実施を予定しています。これらの地域に向けた活動が立教のアピールにつながれば一番嬉しいですね。なるべく多くの埼玉県内に在住・在勤の皆さまにご出席いただければ、県内の各立教会と協力をしながら準備を進めていきたいと思ひます。

最後に校友に向けてメッセージを。

他の地域立教会と同じように、地域在住の校友の把握が難しいという課題があります。活動の活性化のためにも、もっと正確な情報が把握できるとよいですね。校友の皆さまには、ぜひ住所が変わったら校友会への登録をしてほしいと思っています。そして、何よりも埼玉に関わる校友の皆さま、11月17日は鴻巣市でお待ちしております。鴻巣の若手・女性ももちろんみんな参加しますので、ぜひお気軽にお越しください。

鴻巣立教会連絡先
野口泰三(会長)
✉ taizo.noguchi@me.com